

「 小さな一歩から 」

小さなことでも、皆で始めれば大きな力となる。身近なことから始めよう。
夢のある大きな目標を持ち、自分のできることから一步一步、行動に移していこう。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)



どこからともなく漂う甘い香りに引き寄せされると、来いピンクの小さなつぼみが開き、かわいらしい沈丁花の花が咲き始めていました。春の訪れに心穏やかになります。子どもたちも小さな春を見つけては目を輝かせ、自然の美しさや不思議さを感じ心躍らせています。その様子に、いろいろな事に興味関心を持っていることを感じ嬉しく思います。

4月から様々な遊びや活動、実体験の中で「なんだろう」「やってみたい」「楽しい」という気付きや気持ちを大切にしてきました。さらに、考えたり工夫したりすることで「出来た」「嬉しい」の達成感や満足感を味わうことが出来たように感じます。しかし、新しいことや初めての体験や挑戦には、誰も不安さや怖さ、戸惑いを感じることもあります。行動を起こすには、好奇心や勇気、自信が必要となります。身近な人との関わりや友だちの楽しそうな姿を見ることで一歩を踏み出すきっかけになることもあります。一人ひとりの小さな一歩が積み重なることで変化が起き大きな力になっていくのだと思います。結果ではなく、また人と比べることなく、出来ることから少しずつ、最初の一歩が踏み出せるような支えをさらに行いながら、保護者の皆様とこの一年の子どもたちの大きな成長を共に喜び合いたいと感じます。日頃の保育へのご理解、ご協力をいただき感謝しております。ありがとうございました。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子
職員一同

2019年度 年主題

【ことばに満たされて～ひびきあう～】

2019年度 年主題聖句

【その人は流れのほとりに植えられた木。】

詩編 1編 3節

【 3月聖句 】

わたしたちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。
エフェソの信徒への手紙 5章 20節

【 3月主題 】

「 大きくなる 」

0歳

- ・一人ひとりの成長を神さまに感謝する
- ・大きくなったことを喜ぶ
- ・外に出て春を感じる
- ・友だちの名前を覚え呼び合う

1、2歳

- ・一年間守ってくださった神さまに感謝する
- ・自信をもって生活を楽しみ、新しい生活に憧れをもつ
- ・季節の変化を感じ、春を見つける



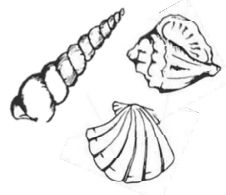
3月の予定表

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16 身体測定	17	18	19 誕生日会	20 春分の日	21	22
23 避難訓練	24	25	26	27	28	29
30	31 クレイシュ通信					

【 お願いとお知らせ 】

- ・感染症予防のために朝必ず検温を行ってから登園するようお願い致します。
- ・年度末に荷物を持ち帰りますので、名前など再確認をお願い致します。

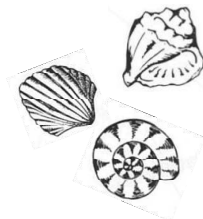
0歳児 mer(海) 組の子どもたちの姿～



寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりました。身体を動かすことが大好きな子どもたちは、園庭に行く前には「ぼうち！」と言いながら自分で帽子を被ろうとしています。最近紐をまたいだりぐったりすることが楽しく、何度も挑戦する姿が見られました。片足を上げるバランス感覚も少しずつ育まれているようです。一人ひとりの発達や運動機能に合わせた遊びの中で、成長を促せるよう工夫しています。生活や遊びの中で友だちの存在も気になり近に行き同じことをやろうとする姿も見られるようになりました。しかし「自分で!」や「欲しい!」の気持ちも強くなり、玩具の取り合いやトラブルに発展してしまうこともあります。気持ちを受けとめながら、人と関わる楽しさを伝えていきたいと思ひます。

月齢の低い児は寝返りが出来るようになり玩具へ手を伸ばしたり音の鳴る玩具を持ち振ることも上手になってきました。ハイハイが出来る児は探索行動も盛んになり、感情表現もより豊かになってきました。

0歳児は月齢差や発達の個人差がありますが、それぞれの子どもに応じた遊びの中で運動機能や豊かな心を育てていきたいと思ひます。保護者の皆様にはご理解、ご協力をいただきありがとうございます。



1歳児 terre(大地)組の子どもたちの姿～

チューリップの芽が少しづつ土の中から頭を覗かせています。

2月には『プペルバス～みんなの笑顔に会いに行く～えんとつ町のプペル光る絵本展』本展』のバスが来てくれ、子どもたちは目を輝かせていました。中に入ると光る絵に駆け寄り手を伸ばしたり、顔を近づけ「キラキラだ!」「すごいね」と嬉しそうに話をする姿が見られました。座席の後ろには絵本から飛び出したプペルが座っており「プペルだ」「いたよ」と大喜びでギュッと抱きつく様子も見られました。

節分の日には手作りの豆(新聞紙)を投げ鬼退治ゲームをしました。「鬼は外!福は内!」と鬼の箱に向かって投げ「当たったよ」「もう1回」と繰り返したり、友だちの姿を見て「頑張ってる」と応援する様子も見られました。友だちと関わることも多く名前を呼び合ったり、手を繋いで仲良く遊ぶことも多くなってきましたが、物の取り合いなど気持ちのぶつかり合いも増えてくることで時には引っ掻きやかみつきなどにもつながることもあります。「かしてほしい」「自分でやりたい」の気持ちに寄り添い、共感しながら怪我のないよう見守っていきたく思ひます。

保護者の皆様一年間ご協力ありがとうございました。

2歳児 ciel(空) 組の子どもたちの姿～

日に日に暖かくなり桃の花の蕾も膨らみ始めてきました。保育室にも子どもたちの作った可愛らしいおひなさまがにっこりと笑っています。

2月には「えんとつ町のプペル」のバスが来てくれました。目を輝かせバスに乗り光る絵本の幻想的な様子に興味深げに手を伸ばしたり、顔を近づけたり「バス乗れて嬉しい」「きれいだね」「キラキラしてる」と感じた思いを言葉で表現していました。初めての体験は子どもたちの心に残るものだったので、部屋に戻ってから「楽しかった」「また行きたいね」と友達同士の会話も弾んでいました。

先月は、1年の集大成として子どもたちの作品展をご覧いただきありがとうございました。「食」をテーマに五感を刺激できるような活動を取り入れてきました。野菜の葉を筆代わりにダイナミックに絵を描いたり、紐を持ちながらぐったり跨いだりすることでひもを巻き付け肉を作り、遊びを考える様子や廃材で野菜を作りまごどで想像力豊かに遊ぶ様子も見られました。さらに友だちとの関わりを喜びながら言葉でのやりとりも多く見られます。苦手だった野菜も「見せて」と自ら食べようとする気持ちも育まれています。様々な面において1年の成長を感じています。卒園まで残り少しですがたくさんの思い出ができるよう日々を大切に過ごしていきたいと思ひます。

